

山形県SDGs推進本部会議

日時：令和4年7月26日(火)11:00～

会場：県庁502会議室

次 第

1 開 会

2 本部長あいさつ

3 議 事

本県におけるSDGsの推進について

4 閉 会

【配付資料】

資料1 持続可能な「やまがた」に向けて ～SDGs×山形県～

資料2 SDGsに関連する主な取組み【令和4年度】

資料3 県における主な取組み（トピック）

(1) 男女共同参画の実現に向けた取組み

(2) 健康長寿日本一の実現に向けた県民総参加の健康づくりの推進

SDGsとは
 SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のあるよりよい社会の実現に向け、2015 (平成27) 年の国連サミットで採択された世界共通の目標で、2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲット、約230の指標例で構成。
 本県の第4次山形県総合発展計画に掲げる「県民一人ひとりの希望を実現して、真の豊かさ、生きがい・幸せを実感でき、持続的に発展する」県づくりの考え方は、SDGsの理念と合致するものであり、本県ならではの特性・資源を評価・活用し、計画に掲げる各種施策の推進を通してSDGsの実現に貢献していく。

これまでの取り組み

- **SDGsの推進に向けた共同宣言 (2020(R2). 8月)**
 県、山形大学、山形新聞社の三者でSDGsの考え方にに基づき、人と自然との調和のもとで県民誰もが真の豊かさと幸せを実感できる山形県づくりを目指し、互いに連携して行動していくことを宣言
- **「やまがたSDGs推進ネットワーク」の開設 (2020(R2). 8月)**
 上記の共同宣言に基づき、情報発信・交流の場となるプラットフォームとして、フェイスブック上に開設 (山形大学、山形新聞社が共同して管理運営)
- **山形県SDGs推進本部の設置 (2021(R3). 7月)**
 知事をトップに、全庁一丸となってSDGsの実現に向けた取り組みを展開するため推進本部を設置
- **「ジョージ・ヤマガタ氏」オンラインセミナーの開催 (2021(R3). 7月)**
 『SDGs～具体的にどうする?～』と題し、県内自治体の首長、有識者、企業経営者等による事例紹介やディスカッションの様子を配信



オンラインセミナーの様子

県民向けの普及・啓発の取り組み【継続実施】

- **若者向けSDGs等環境学習会の開催**
 [環境エネルギー部、2020(R2)～]
 民間企業や山形大学と連携し、高校生等を対象としたSDGs (環境分野)、地球温暖化、気候変動適応等に関する環境学習会を開催
- **県HP「山形県におけるSDGsの推進について」による情報発信 (2021(R3). 8月～)**
 県HP「山形県におけるSDGsの推進について」を開設し、SDGsに関する各種情報を発信するとともに、啓発チラシを掲載
- **県職員による出前講座の実施 (2021(R3). 11月～)**
 各種団体における会議等において、SDGsに関する県職員の出前講座を実施

今年度の取り組み

SDGsの理解促進と意識醸成が重要であることから、県が旗振り役として、県民、県内事業者を先導し、普及・啓発により機運醸成を図る。～「知らない」から「知っている」、「行動している」へ!～

(1) 重点的にSDGsを推進する取り組み

○「やまがたSDGs推進月間(仮称)」の設定

本県独自に「やまがたSDGs推進月間(仮称)」を設定し、期間中、官民が一体となって集中的に周知・広報等を行うことで、県民・県内事業者の主体的な行動を促し、県全体でSDGsの実現に向け行動する。期間については、他の取り組み等と十分に連携が図れるよう、SDGs週間(※)を含む1ヶ月間とする(9月16日(金)～10月16日(日))。

※ 2016(H27)年、国連開発計画(UNDP)等によって設定されたSDGsの推進期間で、SDGsが国連で採択された9月25日を含む約1週間(2022年は9月16日(金)～25日(日))

《取り組み内容》

- 県庁・総合支庁、県関係施設をSDGsで彩る取り組み
 県庁・総合支庁ロビー等でのパネル展示、県庁舎各フロアへの17ゴールロゴの貼付け等
- 県内事業者等と連携した取り組み
 ・やまがたSDGsフェスタでの啓発(山形新聞社主催)
 ・モンテディオ山形ホーム戦におけるSDGsブースでの啓発等
- 県民・県内事業者に対する集中的な情報発信
 県SNS等での情報発信、市町村広報誌での告知(周知依頼)等



やまがたSDGsフェスタ2021 (出典: 山形新聞社HP)



モンテディオ山形SDGsブース (出典: モンテディオ山形HP)

(2) 年間を通じた取り組み

○県政広報誌「県民のあゆみ」での広報

県政広報誌「県民のあゆみ」にSDGsに関する記事を掲載し、県民の理解促進を図る。(令和4年5月号から掲載(全6回))

○「今日からできるSDGsチャレンジ(仮称)」の募集

SDGsの実現に向けた県民の取り組みなどについて県SNS等により随時募集し、「今日からできるSDGsチャレンジ(仮称)」として県HP等に掲載するとともに、県SNS等でも発信する。

○県内事業者に向けた多様な取り組み事例の横展開

県内事業者の多様な取り組みに関する情報を集約し、県HP等で周知するとともに、啓発チラシの活用等により、当該情報を広く県内事業者に対して提供する。
 (例1) 社員の意識醸成(社員一人ひとりが「My SDGs宣言」を作成しロッカーに貼付)
 (例2) 食品ロス削減・農作物廃棄ゼロ(規格外品をインターネットで販売)

持続可能な開発目標(SDGs)に関する主な取組み【令和4年度】

●：新規 ◎：拡充 ○：継続

1 貧困をなくそう

- ひとり親家庭に対する住居資金の支援やライフプランセミナーの開催等による総合的支援
- 生活困窮者の就労準備、家計改善支援の実施
- 子ども食堂等に取り組む団体に対する運営支援と相談・支援体制の整備による子どもの居場所づくりの推進

2 飢餓をゼロに

- 新たな担い手の参入等に向けたJAや農業法人等による果樹団地整備への支援【全国初】
- 農業者の収入保険加入の促進に向けた市町村と連携した掛金助成、研修会開催支援
- 米価下落を踏まえた米粉の利用拡大の推進、転換作物の生産拡大への支援
- 令和6年4月開学に向けた「東北農林専門職大学(仮称)」の整備推進

3 すべての人に健康と福祉を

- 特定不妊治療の医療保険適用(R4.4~)により生じる自己負担の一部への支援【全国初】
- 「コロナに負けない身体づくり」推進のためのウォーキング大会の開催等
- ◎医師修学資金の貸与や山大医学部・関係機関との連携強化による医師確保対策の実施
- 医療的ケア児の様々な相談に対応する「山形県医療的ケア児等支援センター」の設置

4 質の高い教育をみんなに

- ◎私立高校等の授業料等軽減支援の拡充(世帯年収約910万円以上の多子世帯への支援【東北初】等)
- 郷土愛を育む地域資源の見学・体験ツアーやふるさとの魅力を再発見する学びの推進
- 教員の指導力向上やICT活用指導力向上のための研修会やフォーラム等の開催
- GIGAスクール運営支援センターによる県立学校のICT運用支援や教員用端末の整備等

5 ジェンダー平等を実現しよう

- 授乳室等を利用できる「赤ちゃんほっとステーション」の登録、設置促進等
- 男性の育休取得対象者のための家事・育児参画セミナーの開催
- ◎女性の賃金向上と県内定着促進に向けた非正規雇用労働者の賃上げや正社員化の支援等
- 0~2歳児の保育料の無償化に向けた段階的負担軽減

6 安全な水とトイレを世界中に

- 施設の耐震化・老朽化対策等への支援や広域連携の推進等による水道事業の基盤強化
- 最上川などの公共用水域や地下水の水質汚濁状況のモニタリング等の実施
- 「里の名水・やまがた百選」の情報発信やアドバイザー派遣等による保全活動の促進
- 浄化槽、下水道等の生活排水処理施設の整備促進

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 洋上風力発電の導入に向けた協議の推進や酒田港の基地港湾指定に向けた調査・検討
- 電力需給バランスに応じた再エネ設備の最適運用を図るための企業向けセミナーの開催
- 家庭・事業所への再エネ設備や災害対応力向上を図る蓄電池・V2H導入等への支援
- 再エネ設備から排出される未利用熱等の有効活用に向けた支援

8 働きがいも経済成長も

- スタートアップステーション・ジョージ山形を核とした地域課題解決型ビジネスモデルの創出【全国初】
- 県内企業の次世代自動車関連産業への参入促進(POJエイト推進体制構築、新製品開発支援等)
- ◎新事業転換やデジタル化・脱炭素化に取り組む中小企業・小規模事業者への支援
- 観光加算等の招聘による観光人材育成やSDGs等「新たな視点」に基づく誘客の促進

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ◎山形県の未来を拓く山形新幹線「米沢トンネル(仮称)」整備の早期事業化に向けた共同調査等
- AIを活用した県管理道路の路面等の大きな損傷につながる箇所等の調査・検証
- 高速道路等の整備促進やICTアクセス道路の事業推進
- 橋梁、舗装、トンネル等の長寿命化計画に基づく予防保全型維持管理などの実施

10 人や国の不平等をなくそう

- ◎コーディネーターの設置等による民間企業の障がい者雇用の促進
- ◎外国人が活躍できる多文化共生社会実現に向けた日本語ボランティア育成等
- 社会参加の拡大に向けた特別支援学校における生徒の就労活動の充実
- 障がいによる差別解消と誰もが共に生きる社会の実現を目指す取組みの促進

11 住み続けられるまちづくりを

- ◎「くらすべ山形」等によるオール山形での移住定住の促進、関係人口の創出拡大
- 「Youth Summit in YAMAGATA」開催等による人材・産業・地域のグローバル化推進
- 住環境の向上や人口減少対策に向けた移住・定住者向け住宅リフォーム支援
- 災害に強い強靱な県土づくりに向けた防災・減災、国土強靱化対策の実施

12 つくる責任 つかう責任

- 商品棚の食品を手前からとる「てまえどり」の普及啓発、フードドライブの普及促進
- ◎循環型産業の販路拡大に向けたリサイクル認定製品展示会の開催
- ◎3Rの研究開発や事業化調査、廃棄物の排出抑制等のための施設・設備整備への支援
- やまがた環境展の開催等による3Rを推進する人材の育成

13 気候変動に具体的な対策を

- 「ゼロカーボンやまがた2050」実現に向けた県民運動の推進
- 高断熱・高气密住宅と再エネ設備導入に対するパッケージ補助等住宅の脱炭素化への支援
- 学生環境ボランティア人材の育成及び出前授業やイベントでの普及啓発活動の実施
- 若者向け環境SDGsワークショップの開催

14 海の豊かさを守ろう

- ◎漁業就業希望者の就業準備や経営基盤継承、新規独立漁業者の経営安定化への支援等
- 長寿命化や耐震・耐津波対策のための漁港整備、水産資源の確保に向けた漁場整備
- ボランティア等による海岸漂着物や河川ごみ等の回収と発生抑制の啓発
- 海岸漂着物の発生抑制対策をより効果的に実施するための漂着物組成調査の実施

15 陸の豊かさも守ろう

- カーボンニュートラルに貢献する間伐・再造林の強化
- ◎イノシシ被害を防止するための総合対策や目撃情報が多発するシカの調査等
- みどり環境税を活用した市町村、地域住民、NPO等による森づくり活動等への支援
- 森林資源のデジタル化やスマート林業の実践

16 平和と公正をすべての人に

- AI機能一体型の児童相談所業務支援システムの導入による児童虐待対応強化【東北初】
- 通学時の児童を交通事故から守るための県管理道路の交通安全対策の実施
- 消費生活相談体制の充実と消費者教育・啓発のための出前講座等の実施
- サイバー犯罪の捜査能力向上、捜査用資機材の整備

17 パートナリシップで目標を達成しよう

- デジタル技術による課題解決に向けた、ワーケーション施策と連動した外部人材活用
- 行政保有の統計情報等のオープンデータ利活用の促進
- 買い物支援、離島振興、ICT利活用など県と市町村が連携したプロジェクトの展開
- 「やまがた社会貢献基金」を活用したNPO等の社会貢献活動の支援



➤ SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連で採択され、世界が合意した17の「持続可能な開発目標」

➤ 第4次山形県総合発展計画の基本目標の考え方は、SDGsの理念と軌を一にするものであり、同計画を推進することにより、SDGs実現に貢献していく

「男女共同参画計画」(R3~R7)では、社会情勢の変化に対応しながら持続可能で活力ある山形県を維持していくため、誰もが性別にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮できるように、男女共同参画及び女性活躍を推進する指針を定め、「互いを認め合い、共に助け合い、誰もが希望する生き方で輝ける社会~暮らし・仕事・地域で幸せになれる山形県~」を目指し取り組みを進めています。

I 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり

< 施策の方向 >

- 固定的な役割分担意識の解消
- 女性からみた本県の魅力の創出・発信

< 主な施策◆ と 令和4年度の取り組み〇 >

- ◆女性も活躍できる環境づくりに向けた機運醸成 ◆多様な暮らし方や働き方の発信
- 〇公的広報における男女共同参画の視点に配慮した表現のリーフレットの作成
- 〇県内外の女性による意見交換会「オンライン100人女子会」の開催
- 〇働く女性の意欲・実践力の醸成などを目指すビジネスウーマン交流会の開催
- 〇SNSを活用した山形で暮らし働く女性のロールモデルの発信

II いきいきと男女がともに活躍できる環境づくり

< 施策の方向 >

- 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 男女の均等な機会・待遇の確保
- ワーク・ライフ・バランスの実現
- 家庭・地域における男女共同参画の推進

< 主な施策◆ と 令和4年度の取り組み〇 >

- ◆女性登用促進 ◆女性の賃金向上、企業の意識改革
- ◆働きやすい環境づくり ◆男性の家事・育児・介護等への参画促進
- 〇県審議会等における女性委員の積極的な登用
- 〇女性の新規就業を目指し、コーディネーターが企業を直接訪問し、働きやすい職場環境整備を働きかけ（産業労働部との連携事業）
- 〇「マザーズジョブサポート」での仕事と子育ての両立のための情報提供や就職促進等につながるセミナーの開催
- 〇企業経営層の意識改革と取組促進にむけたトップセミナーの開催
- 〇県内企業等を対象とした男性のワーク・ライフ・バランス応援セミナーの開催

III 安全・安心に暮らせる社会づくり

< 施策の方向 >

- コロナ禍における女性への支援

< 主な施策◆ と 令和4年度の取り組み〇 >

- ◆悩み・困難を抱える女性への支援
- 〇相談機能の強化及びNPO等におけるピアサポートや生理用品の配布

- 高齢化率の高い本県において、将来にわたって地域活力を維持していくためには、年齢にかかわらず活躍できる社会の実現を目指していく必要があり、そのためには、県民一人ひとりが若い頃から生活習慣の改善に主体的・継続的に取り組むことが重要である。
- 基礎疾患のある者が新型コロナに感染した場合には、重症化リスクが高いとされ、加えて、コロナ禍の自粛生活で運動不足等による生活習慣の悪化も懸念される。

山形県民の生活習慣等の課題

① 特定健診の有所見率が高い

BMI(肥満)、血圧、空腹時血糖が男女ともに全国値に比べ高い状況

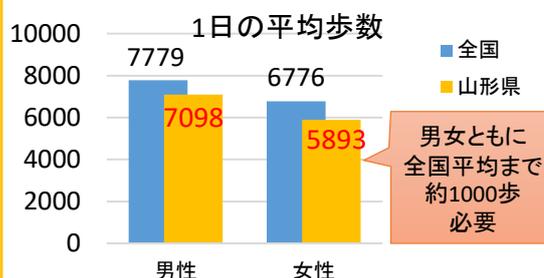
平成30年度 特定健診受診者の有所見率

		BMI (肥満) 25 以上	収縮期 血圧 130mmHg 以上	拡張期 血圧 85mmHg 以上	HbA1c 5.6% 以上	空腹時 血糖 100mg/dl 以上
男	山形県	35.5	46.7	35.7	53.3	45.3
	全国	35.1	39.2	28.7	49.6	41.1
女	山形県	24.0	35.8	18.3	56.3	26.9
	全国	20.5	30.0	14.5	48.2	21.9

出典:NDBデータ(厚生労働省)

② 歩数が少ない

1日当たりの平均歩数は
男性が全国第33位(7,098歩)
女性が全国第44位(5,893歩)



ウォーキングプロジェクトの推進

～ポストコロナを見据えた「コロナに負けない身体づくり」の取組み～

「チャレンジ！プラス1,000歩！」をキャッチフレーズに、誰もが手軽に実践できるウォーキングを推奨することで県民の運動習慣を身につける契機とするとともに、「コロナに負けない身体づくり」を推進する。

～歩くきっかけづくり～ やまがた健康長寿日本一ウォーキング大会

- 本プロジェクトのキックオフイベント
- 1日の目標歩数(約8,000歩)のコースを設定し、目標とする歩数を体感
〔コース内にエイドステーション等を設け、子供でも楽しめるような〕
〔コースも設定〕
- ・日時:令和4年9月24日(土) ・場所:山形県総合運動公園
- ・参加者目標:1,000人



～歩く習慣の定着を目指して～ 「チャレンジ！プラス1,000歩！」ウォーキング月間チャレンジ

- 毎月の目標歩数を達成した者にプレゼントを贈呈するチャレンジ企画
- 身近な地元で楽しみながら歩く習慣を身につけてもらうため、モデルコースとして、各地域の地域資源を巡るウォーキングマップ等を紹介

期間:	第1期	第2期	第3期	各期間中の 目標設定:	初級者コース	中級者コース	上級者コース
	9月26日～ 10月23日	10月24日～ 11月20日	11月21日～ 12月18日		6千歩を5日 又は12万歩	7千歩を5日 又は14万歩	8千歩を5日 又は16万歩

・参加者目標:1,000人(3回累計)



「健康長寿日本一」の実現・健康寿命の延伸

「第4回地域版SDGs調査2022」結果について

1. 山形県の状況

全国順位（前回）	SDGs評価（前回）
5位（31位）	52.4点（44.5点）

2. 調査概要

(1) 地域版SDGs調査について

- ・株式会社ブランド総合研究所が2019年から毎年実施
- ・住民が地域のSDGsへの取組みについてどのように評価しているかを調査している
 - ※ 株式会社ブランド総合研究所では、地域のSDGsへの取組みは、住民自身や地域の企業による取組みなどが大きく影響すると分析

(2) SDGs評価について

- ・「お住いの都道府県はSDGs達成のために積極的に取り組んでいると思いますか」との設問を設定
- ・下記5つの選択肢
 - ①「よく取り組んでいる（100点）」
 - ②「少し取り組んでいる（75点）」
 - ③「どちらともいえない（50点）」
 - ④「あまり取り組んでいない（25点）」
 - ⑤「全く取り組んでいない（0点）」の5段階評価により、結果を点数化して集計

3. (参考) 他県の状況

【2022 上位都道府県】

- 1位 鳥取県（前回1位）
- 2位 福島県（前回5位）
- 3位 宮崎県（前回11位）
- 4位 福井県（前回14位）
- 5位 山形県（前回31位）

以上